

せんだん

全ての人がしあわせと思える社会づくり

E-mail: itiretu@h2.dion.ne.jp

発行・編集 社会福祉法人 一れつ会 / 印刷 ウイズ

法人本部

〒720-2419 広島県福山市加茂町字上加茂811
TEL084-972-5544 FAX084-972-5549

総合福祉支援センター『しんぷおにい』

〒720-0031 広島県福山市三吉町5-1-45
TEL084-926-1754 FAX084-926-1764

春日寮

〒721-0911 広島県福山市青葉台1-20-1
TEL084-947-1266 FAX084-947-2371

理事長就任の挨拶

社会福祉法人 一れつ会 理事長 小林智久

平成27年6月25日に開催されました本法人理事会におきまして、前理事長小林義和の後任として、若輩ながら理事長に就任いたしました。社会福祉の変革期であるこの時代に理事長という重責を担うこととなり、改めてその職責の大きさに身の引き締まる思いです。

当法人は昭和62年6月に法人認可を受け、翌年4月に福祉の里とよばれるこの加茂町に、最初の事業である知的障害者通所授産施設「せんだんの家」(現障害福祉サービス事業所せんだんの家)を開所いたしました。その後、平成6年には「いこいの家」、平成11年には「ウイズ」、平成14年には「ほほえみ」、平成15年には「居宅介護支援センター和らぎ」を開設しました。

我が国の障がい福祉の法制度は、措置制度から、平成15年に支援費制度、平成18年には障害者自立支援法、そして、平成25年には障害者総合支援法と短期間でめまぐるしく変わってきました。この間、利用者の方々や地域の障がいのある方々のニーズに添える形で、三吉町に「しんぷおにい」、青葉台に福山市より移管を受けた「春日寮」、「青葉」、市内に10か所のグループホームの開所に至りました。来年で当法人は、創立30年を迎えます。利用者の方々、家族の方々、地域の方々、そして、温かく見守ってくださった全ての方々に支えられ今日を迎えることができましたことに心から感謝申し上げます。

今後、障がい者福祉を取り巻く環境は変わっていく中でも、変わらない福祉の心、「一人も泣く人のいない、一人残らずの人が喜ぶ社会づくり」の理念のもと、子供からお年寄りまで、支援を必要とする全ての方々の、「その人らしく尊厳をもって生きる」を支え、社会・地域の方に愛され、信頼され、認められる事業経営を行い、常に努力し、前進する職員集団となっていくよう、役員一丸となって取り組んでまいります。

前任者同様、今後も更なるご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

- 1面 理事長就任挨拶
- 2面 せんだんの家コンサート30周年特集
- 3面 ちょっといい本音の話、Food・Health
- 4面 各事業所から

- 5面 NHK歳末たすけあい助成について、ありがとうございました。
- 6面 広島県東部地区親善スポーツ大会
STUDIO ONE (いこいの家) 個展のご案内
各地区夏まつりのお礼

せんだんの家コンサート30周年

コンサートの誕生と出会った人への感謝～これからの絆へ～

来る11月8日（日）に福山市北部市民センターで第30回目の「せんだんの家コンサート」を開催させていただきます。

私たちは今から32年前に通称「四つ角」と呼ばれていた場所から万能倉商店街の入口の南側に位置する場所（福山市御幸町上岩成）で共同作業所せんだんの家として広島県心身障害者就労促進事業を実施しておりました。

当初から社会福祉法人の設立認可並びに地域に開かれた認可施設の開設を掲げて活動をしておりました。

こうした中で一人でも多くの人に福祉について知ってもらいたい、一人でも多くの人とふれあいたいという願いをどうすれば実現していけるのか、関係者が日夜、暗中模索しながら考え、1983（昭和58）年に手作りコンサートとして「第1回せんだんの家コンサート」が誕生しました。

それから毎年1回ずつ積み重ね、このたび30周年を迎えられることになりました。

第5回が開催された1988（昭和62）年には念願でありました社会福祉法人の設立も、一れつ会という法人名を命名し、認可・創立されました。その後もコンサートのあゆみも重ねながら法人の経営事業所も年々発展・充実が図られてまいりました。これも地域の多くの皆様方のご理解とご支援の賜物であり、感謝の気持ちで一杯であります。今ではこのコンサートは障がいのある人たちの自信と大きな希望につながる大切な機会になっております。

今後も障がいのある人たちの地域生活の推進、社会参加の促進を一層図ってまいりたいと願っております。

また法人・経営事業所は福祉の心の発信拠点として街づくりの発展、社会貢献の役割を果たし、地域の福祉財産として今後も皆様方との一層の絆が結ばれますようにさらに交流が図られますことを願っております。

来年は社会福祉法人の創立30周年を迎えます。今後とも引き続き温かいご支援・ご協力を賜りますように何卒よろしくお願い申し上げます。

第30回「せんだんの家コンサート」へのご来場を心よりお待ちしております。

（ほほえみ 管理者 延近 善浩）



第一回せんだんの家コンサート実行委員会メンバー

『実習生を通して感じたこと』

しんぷおにい 主任 西村 真弓

私が勤務している事業所には、毎年多くの実習生さんが勉強をしに来られます。

実習の目的は様々ですが、『保育士になるため』『学校の先生になるため』『社会福祉士の資格を得るため』がほとんどです。事前オリエンテーションの際に、「将来は何になりたい？」と聞くと、残念ながら、「障がい福祉に携わりたい。」という実習生さんはいません。

それでも、実習生の方が社会人になった時、何かに活かせれば…勉強になれば…という思いで実習指導をしています。実習中は、一人でも多くの利用者の方に関わってもらうようにし、また、毎日の実習終了後の振り返りの時間には、スタッフの仕事や障がい福祉事業所について伝えたり、質問に応じたりしました。

振り返りの時間には、いろいろな話をしていますが、ある実習生さんに、障がいのある方に対する印象を聞くと、初日は、『どう接したらいいかわからない。』『目の前で大きな声を出されたことがあるので少し怖い。』と正直に話してくださいました。支援者としてはそれを聞き、ショックに感じるところもありましたが、正直な気持ちを言ってくださり、ありがたく思いました。

そうして、5日間の実習最終日にもう一度、障がいのある方に対する印象を尋ねると、ほとんどの方が、『印象が変わった。』と言って下さり、また、『障がい福祉に関わる仕事がしたい。』と言って下さった方もいらっしゃいました。その話を聞き、私はすごくうれしくなりました。

さらに、別の実習生グループの最終日の振り返りの時間のこと。実習生の一人であるAさんが、「私は将来、保育士として保育園などで働きたいと考えていましたが、この実習を通して、障がいのある方に携わる仕事に魅力的を感じてきました。」と言われました。

実習を終えた数年後の3月。新入職員として再会したAさん。「職員になったんだね。」と声を掛けると、「はい。これからよろしくお願いします。」とキラキラした目で言ってきました。私は、「職員としてもう一度出会えてうれしいよ。これからよろしくね。」と声を掛けました。その職員さんはキラキラした目で今も頑張っています。

実習指導に携わっていると、実習生さんの新鮮な目で見て感じたことや、新鮮な気持ちでの関わり方に学ぶところがたくさんあります。私は実習指導者として、実習生さんを通じて自分自身も勉強させてもらいつつ、実習生さんには、障がいのある方のことをよく知ってもらい、障がいのある方に関わる仕事に関心をもってもらえるような指導をしていきたいと思っています。



Health

かんけつはこう 「間欠跛行」で疑う2つの病

秋も深まり、スポーツや散歩に最適な季節ですが、足の痛みにお悩みの方も多いと思います。歩いていると足に痛みやしびれがあり、少し休めば痛みが引いてまた歩けるようになる。こういう症状を『間欠跛行』といいます。

この症状を訴える時は、「腰部脊柱管狭窄症」か、「閉塞性動脈硬化症」であることが多いと言われています。

背中を丸めて休むと、また歩けるようになる時は、「腰部脊柱管狭窄症」の可能性が高く、姿勢に関係なく休めば、また歩けるようになる場合は、「閉塞性動脈硬化症」を疑います。休む時の姿勢が見分ける大きなポイントで、背中を丸めて腰をかがめる姿勢は、背骨の中にある脊柱管を広げる姿勢になるので、楽になると言われています。

休めば痛みが引くからと言ってそのままにせず、早めに医療機関を受診されることをお勧めします。

(いこいの家 看護師 松下 寿美子)



Food

歯周病

加齢とともに増え、進行に気付きにくい

歯周病は歯と歯茎の間に歯垢（プラーク）がたまり、その中の細菌によって歯茎に炎症がおこる病気で、かつては歯槽膿漏と呼ばれていました。加齢とともに増え、かなり進行するまで痛みが無いので、気づいた時には歯がぐらついているというケースも少なくありません。歯茎からの出血や膿、歯茎の色が悪い等の症状があれば早めに歯科で治療を受けましょう。まずは歯科で歯垢の成分が固まった「歯石」を除去してもらわないと、歯周病は改善しないからです。それとともに、歯周病の悪化予防や改善に役立つ食事を摂りましょう。

歯茎を健康にし、骨を強化する栄養素

- ・ビタミンC＝健康な歯茎を作る（新鮮な野菜・果物）
- ・カルシウム＝歯を支える骨の維持に必要（乳製品や小魚）
- ・ビタミンD＝カルシウムの吸収・沈着促進（魚介類、卵、しいたけ）

日々のケアを心がけ、いつまでも美味しく食べる続ける為の、元気な歯を目指しましょう。

(春日寮 栄養士 松本 悦子)



いこいの家

地域の夏祭りに参加



いこいの家では毎年、加茂地区近辺で開催される様々な夏まつりへ、利用者さんが参加されています。参加された利用者さんは、普段とは一味違う雰囲気や模擬店を楽しまれています。今後、地域の方々とのふれあいを大切にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

(いこいの家 脇田 明佳)

春日寮 お盆余暇活動

春日寮では、八月十三日～八月十六日までの期間、利用者さんへ外出先の希望を募り、「自然体験」や「花火大会」、「カラオケ・温泉」などの五つのグループに分かれて出掛けました。自然体験グループは、「シーパーク大浜」に行き、釣り堀で釣りをしたり、パーク内を散策したりして自然に触れる事が出来ました。どの余暇外出のグループも、施設に帰って来た際には、「楽しかったよ」、「また来年も行こうね」と笑顔で話し合う様子が伺えました。お盆休みを余暇外出で楽しんで頂き、気分転換を図る事が出来ました。



(春日寮 細野 孝治)

しんぷおにい

日帰り旅行



平成二十七年九月五日(土)、しんぷおにい家族旅行に行つて来ました。鳥取県の境港で美味しい昼食を食べ、水木しげるロードを散策し、お菓子の壽城ではたくさんのお菓子の試食をしました。ゲゲの鬼太郎を始め、たくさん妖怪の銅像を見つながら散策をしていくと、なんと鬼太郎が歩いて来ました。みんな「鬼太郎が来た!」と笑顔で叫び、ちゃっかり写真も撮ってもらいました。この日は家族でいつも仕事をしている仲間と仕事抜きで話をしたり、みんなで楽しい思い出作りが出来ました。お天気にも恵まれ、とっても楽しい日帰り旅行になりました。来年の日帰り旅行も今から楽しみです。

(しんぷおにい 山田 仁美)



ウイズー泊旅行

ウイズの従業員と職員で9月11日(金)・12日(土)の2日間、愛媛県に「NPO法人 さなえ」の見学と従業員の慰労・親睦を図る旅行に行ってきました。

1日目に訪れた「NPO法人 さなえ」の中の事業所「さなえオアシス」では、就労継続支援A型と就労移行支援の2つの機能があり、そこでは93名の従業員が働いていました。作業としては枕カバー・シーツ・タオルの洗濯、その後のシワやたるみのチェック作業を主にされていて、作業されている従業員は全員が私語など一切せず、与えられた仕事に真剣に取り組んでいました。これを見学したウイズの従業員、職員共に自分たちの仕事に対する取り組み方を改めて考えさせられ、今まで以上に仕事に真剣に取り組む、売上目標クリアに向かつて全員で努力していきたいと思いました。

2日目の「マイントピア別子」「タオル美術館」等の観光では、ウイズの普段の生活では見られない、従業員の笑顔が見られ、2日間を通して従業員同士の親睦がかなり図られたものと思われます。「来年も旅行に行きたい」という従業員の声も聞かれ、その期待に応えられるよう、これからも従業員と一緒に旅行を続けていきたいと思いました。

(ウイズ 入江 貴志)



広島県東部地区親善スポーツ大会

9月13日（日）、福山市竹ヶ端運動公園にて、広島県東部地区親善スポーツ大会が開催されました。広島県東部地区に在住する知的障がいのある人たちが一堂に会し、日頃の練習の成果を出し切り、それぞれの限界に挑戦しました。

会場内では、他事業所の利用者さんと、「久しぶり」「今日は頑張ろう」と互いに声を掛け合い、交流を図っていました。競技種目は、「100m走」や「ソフトボール投げ」など多種目あり、一れつ会の利用者さんも多くの競技で入賞する事ができました。表彰台に上がる時には少し緊張した面持ちでしたが、賞状を受け取った後は、とても嬉しそうに賞状を見せる姿が印象的でした。大会を通じて、より一層、スポーツをする事の楽しさや喜びを感じてもらえたと思います。

（春日景 細野 孝治）



「STUDIO ONE」個展開催!!

2015（平成27）年11月7日（土）～15日（日）までの9日間、いこいの家の独自ブランドである「STUDIO ONE」の個展を、倉敷市美観地区の「ギャラリー十露（じゅうろう）本館」にて開催いたします。「STUDIO ONE」のメンバー（手漉き和紙・さをり織り班）は、『世界に一つだけ』を合言葉に、この日に向けて、魅力的でクオリティーの高い製品作りを目指し、お客様に喜んで頂ける逸品として心を込めて作り上げてきました。新作も多数取り揃えておりますので、ご家族・ご近所の方も誘い合わせの上、ぜひお越しください。お待ちしております。

※詳しくはいこいの家職員にお気軽にお尋ねください。

（いこいの家 福原 瑛美）



7月18日（土）三吉地区、7月25日（土）加茂地区、7月30日（木）春日地区の夏まつりが今年も盛大に開催され、たくさんのボランティアの方の協力もあって、大盛況のうちに終了することができました。ご協力くださったボランティアの方々、またご来場くださった地域の方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

編集後記

もうすっかり秋ですね。スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋…。皆さんにとって、秋はどのような季節ですか？ 体を動かしやすい季節なので、ふだん体を動かすことが少ない方も、この秋から、何かスポーツを始めてみてはいかがですか？ ちょっとの散歩をするだけでも、心地良い秋の風に触れられるのではないのでしょうか。

（いこいの家 橋本 直樹）

一れつ友の会の会員になってください

一れつ友の会は、社会福祉法人「一れつ会」が、運営する施設や将来計画している施設の運営に協力し、心身障がい者福祉の向上と福祉教育を通して、互いに助け合いの社会づくりを目的としています。

活動推進のために、この会の目的をご理解頂き、友の会への新加入・ご更新をお願いいたします。

○普通会員 一口 500円/月

○協力会員 お気持ちに応じて

お問い合わせ・お申し込みは

一れつ友の会（せんだんの家内）までお願い致します。

TEL (084) 9 7 2 - 5 5 4 4